※令和４年度以降入学生用

学校番号	404

令和８年度　理科

教科	理科	科目	科学と人間生活	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「科学と人間生活」　（数研出版）						
副教材等	「科学と人間生活 準拠 サポートノート」　（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

理科に興味・関心をもって、一緒に学習に取り組みましょう。
また、理科は既習事項を積み上げて、理解していく教科です。
振り返りシートやプリント、動画、問題集を組み合わせて、より深く学習していきましょう。

２　学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

(1)　自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
(2)　観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
(3)　自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解し、知識を身につけている。また、観察、実験などの基本操作やそれらの過程、結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を習得している。	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について問題を見いだし、観察、実験などを通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	自然と人間生活との関わり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味・関心をもち、意欲的に探究しようとする態度で学習に臨んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	材料とその再利用	①プラスチックとその性質 ②プラスチックの成り立ち ③さまざまなプラスチック ④資源の再利用	a:プラスチックの化学構造、利用例、再利用について理解する。 b:プラスチックの用途について、その背室と関連させて説明できる。 c:学習した内容を、日常生活における身近な製品や環境問題などと結びつけ、意欲的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート
2学期	ヒトの生命現象	①生命を支えるタンパク質 ②免疫とからだの防御 ③免疫と健康	a:抗体による免疫のしくみについて理解する。 b:抗体による免疫についての学習を通して、アレルギーや予防接種について説明できる。 c:ヒトの生命現象についての学習内容を、日常生活や健康管理に結びつけ、意欲的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート
	熱の性質とその利用	①温度と熱運動 ②熱容量・比熱 ③熱の伝わり方 ④熱エネルギーの利用	a:温度、熱運動、熱平衡、熱容量と比熱、熱量の保存について理解する。また、熱の伝わり方(熱伝導、対流、熱放射)について理解する。 b:熱平衡、比熱、熱量の保存について学習したことを利用して、物質の比熱を求めることができる。 c:熱の性質とその利用についての学習内容を、日常生活や身近な現象に結びつけ、意欲的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	自然景観と自然災害	①日本列島とプレート ②地震のしくみと地震活動 ③地震による災害	a:地球の内部構造、地震発生のしくみ、地震によって発生する災害について理解する。 b:日本列島のプレート分布と、地震の発生について関連づけて説明できる。ハザードマップを読み取ることができる。 c:日本列島周辺のプレート分布と、地震や火山活動について関連付けて意欲的に理解しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度